

登録しよう

災害が起きたとき 自力で避難できますか。

～三芳町災害時要援護者避難支援プラン～

災害が発生したときに、自力で避難することができない要援護者のみなさんを地域の人たちで支援する仕組みづくりを進めています。対象の人は名簿への登録をおすすめします。

不安なままではいるより、準備したほうが安心だ。



災害時
要援護者
(高齢者や障がい者)

登録するだけで準備 OK !

名簿登録申請書の提出



三芳町役場



避難支援者
(民生委員・行政区・社協・消防団など)

普段・災害時の見守り



登録者情報の提供

対象者

- ①要介護 3～5 の認定を受けている人
 - ②身体障害者手帳 (1・2 級)、療育手帳 (A・A)、精神障害者保健福祉手帳 (1・2 級) のいずれかを所持する人
 - ③町の支援を受けている難病患者
 - ④70 歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯
 - ⑤日本語の理解が不十分な在住外国人
 - ⑥そのほか自力避難が困難な人
- ※①～③の人は緊急連絡先やかかりつけ医等を登録する「個別計画」の提出もおすすめします。

問い合わせ

申し込みやプランの詳細は
 ・福祉課 (内線 176～178)
 ・健康増進課 (内線 184～187)
 ・自治安心課 (内線 265・266)
 または地域の行政区役員や民生委員にお問い合わせください。

新たな出会い。 将来を照らす。



19 回目を迎えた中学生海外派遣。新たな試みとして「マレーシア・リーダーシップ・プログラム」に参加し、他国の生徒と活動しました。他人を尊重し、思いやる気持ちは世界共通。グローバル化社会での自身の責任と役割について自覚を深められた 8 日間でした。

マレーシア教員交流



8/25 (土)～9/8 (土)の 2 週間、マレーシアにある APSS (アジア・パシフィック・スマート・スクール) に三芳町の小学校教員 1 人、中学校教員 1 人が派遣されました。指導力や英語力の向上、海外の学校での経験を三芳町の教育に活かすことを目的としたものです。APSS では、派遣教員が授業の中で日本の生活や学校について紹介したり、折り紙を教えたりして生徒と交流し、日本の文化や伝統を伝えてきました。マレーシアでは生徒に考えさせ、自分の考えを表現する授業が多く、生徒も活発に授業に参加していました。



→マレーシアはもちろん、中国やインドネシアの生徒も一緒に参加。心を打ちとけます。



→マレーシアの料理は辛い物が多くて、日本との食文化の違いを感じ取りました。



→親切に色々なことを教えてもらい、最後は帰りたくないという想いがありました。



→英語での会話は難しかったけど、もっとうまく話したいと思うようになりました。